

2022年8月1日

大会関係者各位

一般社団法人岩手県バスケットボール協会
普及育成部 U15 委員会

**ベルジョイス CUP 2022 年度第 4 回岩手県 U15 バスケットボール選手権大会
兼 Jr.ウィンターカップ第 3 回全国 U15 バスケットボール選手権大会岩手県予選会
新型コロナウイルス感染症感染予防対策ガイドライン**

1. 開催にあたり

今大会は会場に入場できる者を下記の通り限定し、記載がない者の入場は不可とする。

- 1) **大会役員**
- 2) **チーム関係者（チーム関係者とは以下の①～③をいう）**
 - ① **エントリーされた選手**
 - ② **スタッフ**
 - ③ **エントリー以外で普段活動に参加している選手**
- 3) **上記 2) ①及び③の保護者** ※試合終了後速やかに退場すること。
- 4) **その他、運営において必要と認める者**

2. 大会開催前に陽性者・濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。

- 1) 陽性者本人、及び潜伏期間を含め本人が参加して練習を行ったチームは、大会に参加できない。
- 2) 濃厚接触者と指定された本人、及び同居家族・同居者が濃厚接触と判断された場合は、本人とそのチーム関係者は大会参加を取りやめる。

※濃厚接触者の解除は、感染者と最終曝露日（同一世帯内であれば適切な感染対策を講じた日）から 5 日間（6 日目解除）とするが、2 日目及び 3 日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は 3 日目で待機を解除することができる（但し、7 日間経過までは体調管理・健康観察を継続してマスクを着用、さらに会食を避けるなどの一般的感染拡大防止を徹底することが前提である）。または、PCR 検査結果等で陰性の結果が出るまでとする。

3. 大会開催期間中に、陽性者及び濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。

- 1) 大会開催期間中に陽性者が確認された場合は、その時点で大会を中止する。
※本大会は、全国大会の予選を兼ねているため、主催者にて延期日程等の検討を最大限行う。
- 2) 大会開催期間中に濃厚接触者と指定された場合は、濃厚接触者及び当該チーム関係者の事業参加を取りやめる。
※PCR 検査を受検し該当者の陰性が確認された場合は、競技会に出場できるが、すでに予定していた試合（競技）が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。
- 3) 上記 1・2 が発生した場合、感染対策責任者は速やかに U15 委員長に連絡するとともに、保健所等関係機関に連絡し対応の指導を仰ぐ。
- 4) 大会本部は、（一社）岩手県バスケットボール協会専務理事及び競技運営部長に連絡する。

4. 大会参加後に陽性及び濃厚接触者が発生した場合について

- 1) 競技参加後5日以内に、参加チームまたは役員（審判員含む）などの関係者から新型コロナウイルスの陽性・濃厚接触が発生した場合、当該チームまたは役員（審判員含む）などの関係者は、U15委員長まで速やかに報告すること。
- 2) 報告を受けたU15委員長は、（一社）岩手県バスケットボール協会専務理事、競技運営部長、対戦チーム、審判委員長及び審判割り当て担当者、その他必要と思われる関係者に連絡する。

5. 大会運営での対応策について、以下のとおりポイント感染防止に努める。

- 1) 会場への入場について
 - ・健康チェックシートに記載されている期間の検温及び会場入り口での検温を必須とし、大会本部へ健康チェックシートを提出する。その際、平熱を超える発熱の方は来場しないことを徹底する。
 - ・会場各所（入口・ベンチ・トイレ）にアルコール消毒を設置し、入場者にこまめな手指の消毒をお願いする。
 - ・入場の際にはマスクの着用を必須とする。
 - ・外靴はビニール袋に入れ各自管理する。
- 2) 会場設営について
 - ・会場内の扉、窓等はでき得る限り開放し、密閉を避ける。
 - ・ベンチ並びにオフィシャルは、間隔を空けて設置する。
 - ・会場内のゴミ箱は使用しない。ゴミは各自持ち帰るよう徹底する。
- 3) 会場内での過ごし方について
 - ・密接な状況にならないよう座る場合は隣と1つ席を空ける。
 - ・飲食以外でのマスクの着用は必須とする。
 - ・会場から退出する際には、自チームが利用した場所の消毒・除菌を行う。
- 4) 更衣室の利用について
 - ・室内が密にならぬように留意のうえ利用する。
 - ・利用した際は、利用者が使用後に必ず消毒作業を徹底する。
- 5) 競技について
 - ・各ベンチ、オフィシャルズテーブルに消毒用アルコールを設置する。
 - ・選手、スタッフ、審判、TO、コートキーパーなど試合に関わる方は、試合の前後で必ず手指消毒を行うこととする。
 - ・タオル・ドリンク類は共用しないこととする。
 - ・チームスタッフ及び交代要員、TO、コートキーパーはマスクの着用を必須とする。特にヘッドコーチがプレイヤーに対して指示を出す際にマスクを外すことが無いよう十分に気を付けること。
 - ・試合を行ったチームは、試合終了後に使用したベンチ及びオフィシャルテーブル、コートキーパーの椅子や机、機材の消毒・除菌を行う。試合後のベンチ等を消毒するための消毒液・ペーパータオル等は主催者で準備する。尚、次の試合のチームがベンチに入るのは消毒・除菌作業が完了した後とする。
- 6) 審判員について
 - ・審判員は、担当ゲームで使用する笛に必ずホイッスルカバーを装着すること。
 - ・レフェリーマスクの使用を認めるが、着用についてクルーで統一する必要はないこととする。

7) 試合終了後

- ・試合終了後、できるだけ早く会場から出るようにする。出る際は必ず手指をアルコール消毒する。

6. 参加する選手

参加する選手に向けて、下記の1)～3)の事項を厳守していただくよう事前に周知する。尚、下記事項を厳守できない場合、大会の安全を確保するため参加取り消しや退場していただく場合がある。

1) 大会参加前の体調管理の徹底について

【重要】 咳・咽頭痛・倦怠感等の体調不良・発熱などの症状がある場合は参加しない。

スタッフ等関係者においても同様とする。

発症から数えて2日間及び症状消失後より数えて3日間において以下の項目にあてはまる場合は参加しない。

- ◇ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
- ◇ 重症化しやすい方で発熱や咳などの比較的軽い風邪症状がある場合
- ◇ 比較的軽い風邪が続く場合

※ これらの症状等に該当する選手等が出たことによって、チームの編成が不可能となり棄権せざるを得ない場合には、処罰対象とはしないので、予防第一で対応を決定すること。また、コーチ有資格者が同様の理由により不在となった場合には、U15委員長に速やかに連絡を取り、指示を仰ぐこと。

2) 大会参加中の事項

- ◇ こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒
- ◇ コート以外でのマスク着用
- ◇ 大きな発声の自粛
- ◇ タオル・ドリンク類の共用をしない

3) 大会へ参加するにあたり別添「健康チェックシート」を提出する。提出しない参加者は、入場を認めない。

7. 大会役員

参加する大会役員について、上記「6. 参加する選手」と同様の事項を厳守し大会運営にあたる。

8. その他

- 1) 参加チームに、感染対策責任者を置くこととする。各チームの感染対策責任者は、上記1・2が発生した場合、速やかにU15委員長に連絡すること。
- 2) 応援に関しても、感染予防の観点から、集団でかけ声を出したり、歌を歌ったりするようなものは禁止する。また、鳴り物についても同様とする。